

令和5年度の予算が決定

予算総額は 197億5,490万円

一般会計：114億4,600万円 特別会計：71億4,120万円 企業会計：11億6,770万円



養老町議会第1回定例会が3月3日(金)に開会され、最終日の17日(金)に、令和5年度予算案(一般会計、8事業の特別会計、2事業の企業会計について)が可決されました。承認された新年度予算について、その概略をご紹介します。

基本姿勢・運営方針

養老の明日を拓くため、町政運営の基本方針として「地域経済の活性化と雇用の創出」「子育て支援策の充実」「健全財政の維持」「SDGsの推進を通しての地方創生のまちづくり」の4つを政策目標として掲げています。

これらの政策目標と町の最上位計画である「養老町まちづくりビジョン」を踏まえ、密接に連携しながら「人口減少対策」「交通アクセス・住環境の改善」「産業振興」「誘客促進」「コロナ対策」「防災・減災対策」の6つの個別施策を展開していきます。

併せて、その他様々な分野においても施策を講じ、連携していくことで相乗効果を生みだし、町民の安心・安全を守るとともに、町の活性化を図ります。

また、長期化している新型コロナウイルス感染症の感染拡大においても、徐々にではありませんが、地域活動・経済活動の回復・活性化への兆しが見え始めてきています。ウィズコロナ時代における新しい日常への融合・移行をニュートラルに行えるよう情報発信、支援を実施していきます。

予算のあらまし

予算の内訳は、一般会計が114億4,600万円、特別会計が71億4,120万円、企業会計が11億6,770万円、総額197億5,490万円です。

一般会計は前年度比1.3%増、特別会計は前年度比2.6%増、企業会計は前年度比8.9%減し、総額としては前年度比1.1%増となりました。

一般会計予算の歳入面では、町税は前年度から2.6%増の34億976万円を計上、地方交付税は、前年度比0.4%増の25億3,750万円を見積もりました。

また、町債については地方財源の不足に対処するための臨時財政対策債に前年度比65.6%減の7,510万円を見込み、町道の舗装・改良の地方道路等整備事業債、用排水施設等の整備に係る県営ため池防犯対策事業債、高規格救急自動車購入事業債など、総額で4億8,710万円を計上しました。

住民参画・地域資源の活用・持続可能なまちづくりを推進するため、「関係人口の創出、子育て・教育環境の充実を図る施策と新食肉基幹市場建設事業」を重点的に進めることを基本方針とし、特に子育て・教育環境の整備と地域産業の活性化を中心とした将来投資型の予算編成としています。